

議題 1 意見収集の場「なかが話」 の実施報告について

令和6年 1 2月 4日
第二回中川区区民会議

「なかが話」とは

さまざまな年代・立場の方々から、
多くの意見を聞く場として
「なかが話」（中川区の将来について
話し合う場）を開催しています。



今年度は、幅広い意見をお聞きするために、
区民会議の構成員から推薦された区民の皆さまの他に、
区内3高校の生徒にもご参加いただきました。



資料 1-2 「報告書」 1 ページ参照

令和6年度「なかが話」について

開催日時：令和6年11月3日（日）
9時30分～12時

会場：中川区役所 講堂

参加者：28人

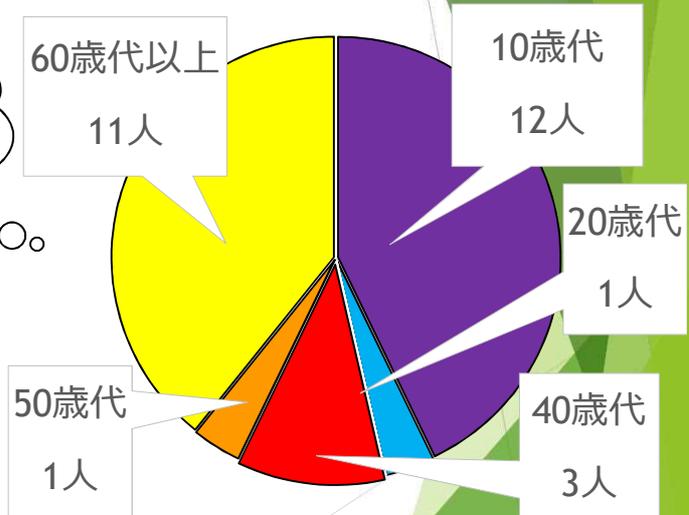
テーマ：「中川区盛り上げ隊！
～楽しいコトを考えよう～」

資料1-2「報告書」1ページ参照

参加者について

学生から、地域に長年
お住いの方まで幅広い
年齢層の方々にお集まり
いただきました。

- ・区民会議構成員から
推薦された区民16人
- ・区内3高校の生徒12人
(中川青和、市立工業、富田)



資料1-2「報告書」1ページ参照

当日の流れ

- ・ あいさつ
- ・ 情報提供
- ・ アイスブレイク
- ・ グループワーク
- ・ 全体発表
- ・ おわりに

資料1 - 2 「報告書」 2～4ページ参照



- ・ メインファシリテーター（中央）
パブリック・ハーツ（株） 水谷氏
- ・ グループファシリテーター
まちづくりびとの皆さま

グループワークの様子



「中川区の良い所や
伸びしろ」について話し
合い、中川区の
“キャッチコピー”を
考えてもらいました。



グループワークの様子



“キャッチコピー”をもとに
具体的な取り組みを考え、
模造紙に纏めました。



Aグループ 「七つの川が結ぶ愛の街」

- ・ 中川区は川と縁がきれないまち
- ・ 若い人は区内に7つも川が流れていることを知らない人が多い



- ・ 7つの川をめぐるスタンプラリー
 - ・ 7つの川沿いでウォークラリー
- イベントやおまつりを行い**川を起点に**
区を盛り上げていく！

資料1-2「報告書」 5～8ページ参照



Bグループ 「中川区は名古屋で一番 人が育つ・人を育てるまち！」

- ・中川区は技術が育つまち
- ・中川区は若者や子育て世代に住みたいと思われていない。



- ・ **若者向け**の新しい技術を共有するイベント
- ・ **年長者**が昔の文化や遊びを語り継ぐイベント
- ・ **子育て世代**向けのイベントを**同時**に行い、人が交流し育つまちを作る。

資料1-2「報告書」報告書9～11ページ参照



Cグループ 「バリエーションが豊かな 思い出のまち!!」

- ・前田利家や戸田まつりなど魅力的な歴史、文化がある。
- ・土地が低く、水害のリスクが高い。



- ・前田利家ゆかりの地のPR（歴史）
- ・地域のまつり活性化（文化）
- ・水害などへの対応（防災）
- ・オーケストラ結成（音楽）

資料1-2「報告書」報告書12～14ページ参照



Dグループ

「中川区は名古屋で一番

まつりが楽しい区です！」

- ・ 一色まつり、梅まつりなど各地でたくさんおまつりがある。
- ・ 中華料理屋さんやラーメン屋さんなどグルメが豊富。



- ・ 高校と連携して地元のおまつりを盛り上げる
- ・ 若者向けの新しいおまつりをつくる
- ・ 町中華など中川区グルメを推していく

資料1-2「報告書」報告書15～17ページ参照



当日の様子（動画）



メインファシリテーター所感（一部抜粋）

地域の担い手不足が言われる昨今ですが、今回、**実は大人も高校生も、地域でのつながりを求めている**ことが分かりました。

お祭りや運動会、防災訓練などの企画運営時に、地元の高中生や中学生をお誘いすることで、もしかしたら、これまでになかった取り組みが生まれるかもしれません。

地域を熟知する方々の懐で、高校生の皆さんがのびのびと自由にそのパフォーマンスを発揮したら、いったいどんなことが起こるのか、期待が高まるばかりです。

今後の中川区のまちづくりのあり方が見えた素晴らしい場だったと思います。

資料1-2 「報告書」18ページ参照

参加者アンケート

・ 本日の「なかが話」はいかがでしたか。

- ・ とても良かった 17人
- ・ 良かった 10人
- ・ あまり良くなかった 0人
- ・ 良くなかった 0人

良かった
37%



とても良かった
63%

資料1-2 「報告書」19～21ページ参照

参加者アンケート 皆様からいただいたご意見（一部抜粋）

- ・あまり気乗りしていませんでしたが、**参加できて良かった。**
(60歳代以上)
- ・知らなかったこと、知っていることを伝えあうことができる。
よりよい中川にできると感じた。 (10歳代)
- ・他の方とのコミュニケーションや、大人の方から聞く**昔の伝統**
など、新しい知識がとてまたくさんあり、勉強になりました。
(10歳代)
- ・**子育て世代**、各年代層からの構成も必要かと思いました。
(60歳代以上)